

# た か だ こ ら む

## 半導体工事用機材管理システム活用による業務効率化

当社は外部サービスを利用して自社で所有する半導体工事用機材の社内レンタル手続き・在庫管理・受払管理のシステムを構築し活用している<sup>1)</sup>。ここでは、このシステムの概要および活用に伴う効果やメリットについてご紹介する。

### 1. システム構築の背景と目的

当社は所有する半導体工事用機材の保管・管理・社内レンタル手続き・受払を協力企業に委託しているが、以前は現場・管理部門・協力企業間で電話やメール、書類のやり取りなどで煩雑な運用を行っていた。

こういった状況に対し作業を円滑に進めるため、昨年半導体工事用機材の管理システムを構築し、デジタル運用にすることで機材選定や管理に関する情報の共有による効率化、費用の明確化を目的とした改善を図った。

図1は機材レンタルシステムの在庫確認画面を示す。

### 2. 外部サービスを用いたシステム構築

システム構築にあたっては、サイボウズ社が提供する業務システム構築クラウドサービス「kintone」およびトクモ社が提供するkintone連携サービス「kViewer」を用いて、機材の社内レンタル手続き・在庫状況を現場・管理部門・協力企業間でリアルタイムに共有できる仕組みを目指した。kViewerとは、ライセンスを持つユーザのみ閲覧することができるkintone内の情報やデータを非ライセンスユーザに対して外部公開できるサービスである。実際の運用においては、意図しない情報公開を防止するために協力企業の固定グローバルIPアドレスのみにアクセス制限を設け、セキュリティや情報漏洩対策を十分に行うこととした。

図2は協力企業の管理画面を示す。

### 3. 構築したシステムの機能

システムの機能に関して、離れた場所に保管している機材の在庫確認や貸出登録など、機材の社内レンタルの手続きに係る一連の流れを一元管理でき、機材の管理状況や費用・貸出場所・貸出期間などを情報共有し、貸出業務を一貫して運用できるように構築を行った。

具体的には図3の機材詳細画面よりレンタル機材を選定することでレンタル費用を算出でき、必要経費も明確に揭示される。機材詳細画面には機材の写真、管理番号、レンタル費用、付属品などを表示している。図4は借用時の操作画面を示し、上部は担当者名、借用予定、届け先などの基本情報の入力欄が、下部は借用機材の一覧が表示され必要経費も明確に揭示される。また、画面上で機材の社内レンタルに関する申請・承認処理を行うことができる機能が備わっている。

### 4. システム活用による効果・メリット

国内のどの場所からも在庫状況がタイムリーに共有できるようになり、オンラインで在庫確認に加え、写真入りの分かり易い画面で機材選定も容易に行うことができる。

さらに、貸出業務をシステム上で一元管理することで業務のスピード化・効率化を図ることができた。

また、機材の所在管理が明確になり貸出状況について工事担当者が確認できるよう改善された。

山崎 剛 (エレクトロニクス部)

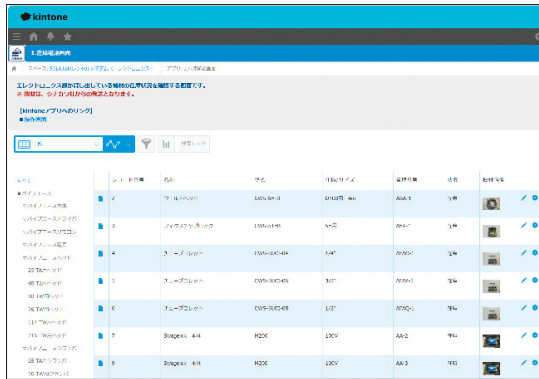


図1 機材レンタルシステムの在庫確認画面

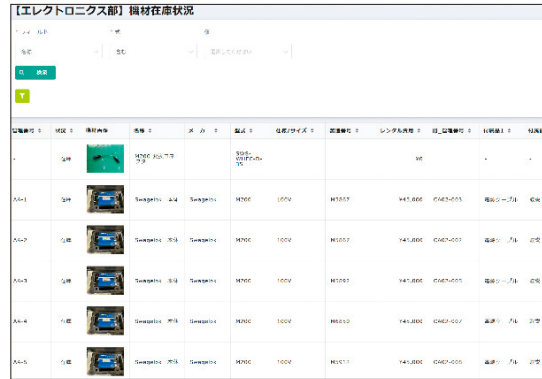


図2 協力企業の管理画面

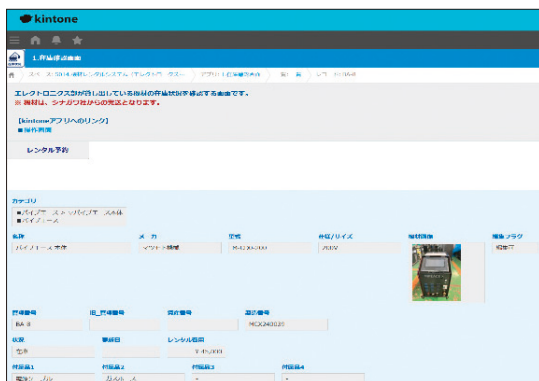


図3 機材詳細画面

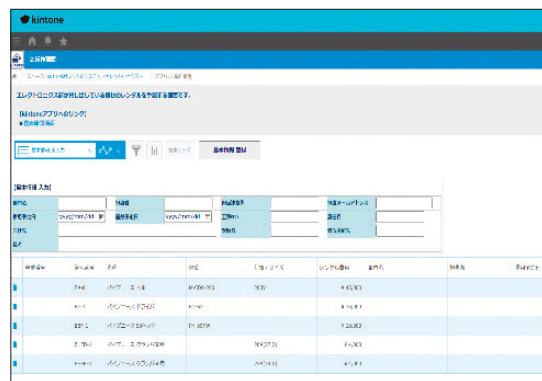


図4 借用時の操作画面

1) トヨクモ株式会社 (2025)

「長年の紙文化を脱却し、DXを推進！従業員1,000人超え老舗企業のトヨクモkintone連携サービス導入事例」,  
<https://www.kintoneapp.com/case/takada> (閲覧日：2025年10月4日)

※kintoneは、サイボウズ株式会社の登録商標です。

※kViewerは、トヨクモ株式会社の登録商標です。